

施設の理念 — 和顔愛語 (人にやさしい笑顔で 心は豊かに 言葉は和やかに)

第32号

■発行所■
芦別市旭町28番地
特別養護老人ホーム
芦別慈恵園
■発行責任者■
川邊弘美
■印刷所■
樹ワタナベ企画いんさつ

慈恵園だより

敬老のお祝いにふれあい祭りを開催しました!!



九月の敬老の日になんて各ユニット・事業所で『ふれあい祭りを』行いました。
ご利用者の敬老の日をお祝いし楽しんで頂き、日頃の感謝の気持ちを伝える事を目的に開催しました。
『和やか・笑顔ユニット』は合同でおしるこやプリン・りんごのコンポート等おやつを中心に、お弁当を作り食券と引き換えました。『あさひユニット』は、屋台・カラオケ・喫茶店と三ヶ所のコーナーに分け、自分の行きたい場所で楽しんで頂きました。『かさぐるま』は地域交流スペースで職員の催し物として人形劇を行ない、脚本と絵も書き、舞台を作り全て自分達の手で準備しました。当日は初めてだった事もあり、また話の内容も水戸黄門風だったので分かりやすくご利用者も舞台に引きつけられていました。その後、畑でとれた南瓜や芋の手作りお菓子でのティータイムはとても和やかでした。この様にユニットごとに特色を出し開催する事で多種多様な敬老の日となりました。来年はもっと楽しく充実した一日になります様に。

敬老のお祝い・ふれあい祭り



★愛ユニットご家族の方もお招きして食事会でのお祝いをしました。献立は、散らし寿司と澄まし汁、おやつに手作りの抹茶ようかんと芋ようかんを用意しました。ご利用者さんもとても美味しいと喜んで食べてくれていました。お一人ずつにメッセージカードとプレゼントを手渡すと感動されて涙ぐむ方もいらっしゃいました。最後はアコーディオン演奏に合わせて『ふるさと』を全員で歌い和やかに終了しました。

★旭ユニット お好み焼き屋台、カラオケコーナー、喫茶店の3か所を用意して好きな所を選んで楽しんでいただく事ができました。ご利用者やご家族の皆さんも「たまには、こういう行事もいいね」「本当に楽しかったよ」と笑顔で話されていたのが印象的でした。

★笑顔・なごやかユニット 2階の地域交流スペースで、手作りのプリン、りんごのソテイ、かぼちゃ団子のお汁粉などを味わっていただきました。皆さんの長寿をお祝いして、大好きな「ふるさと」などの懐かしい曲を全員で歌うなど、賑やかで楽しいひとときを過ごして頂けました。「大変な時代を生きて来たからね、こんなに長生きできると思わなかった」「せっかくお祝いしてもらって具合悪くなれないね」と笑顔で話されていました。



デイサービス センター

九月十四日に第2回家族交流会を開催しました。

今年度は9家族23名の方に参加頂き、施設見学やご家族とスタッフの懇談会など、昨年とは少し変わった事を行いました。普段はご覧にならない、慈恵園の施設内を見学し「お風呂場がたくさんあって驚きました」などのお声が聞かれました。

懇談会ではご自宅での介護の悩みなど、苦しい胸の内を互いに話し合い涙する場面もありました。思いを話し共感する事で、気持ちが楽になった方もいらっしゃいました。

これからも今回のように、ご家族様の声を聞く機会を持ち、少しでも力になれたらと思います。



家族交流会



〈ご寄稿〉ありがとうございます。

もみじの家と旭町内会

旭町々内会長 西 英昭 様

もみじの家が、今年4月中央町内会から旭町に引っ越し旭町内会の会員となり、8月からは認知症対応型通所介護となりました。

町内会の皆様には、まだ馴染が浅いと思いますが、大きい施設での雰囲気ではなじみにくいので家庭の茶の間と同じ環境で利用者の皆様が生活を送る場所でありたいです。

職員の皆さんは「地域密着型」つまり地域との交流、そして地域に根差すため桜並木の草取りやクリーン作戦等の町内行事に多数参加しております。

もみじの家の名前の由来は、中央町内会にあった頃の家主さんの思い出の庭のもみじにちなんだものですが、この名称は、旭町の美しい自然風景にもマッチするものです。

8月31日に、町内会3役とたんぼば会役員との交流会を行ったところでありましたが、今後は、学習療法や畑作りのお手伝等のボランティア活動を通じ、利用者の皆さんが生きがいのある生活を送るため町内会との交流を図りたいと思います。



芦別市食用馬鈴薯組合様

から700kgもご寄贈頂きましたじゃがいもを使用し、慈恵園で取り組んでいる『やわらか食』（舌でつぶすことができる食事）を作りました。じゃがいもで作るニョッキは、白玉よりも柔らかく味も甘味があります。汁物でもデザートでも食べることができ、色々な料理に応用できます。

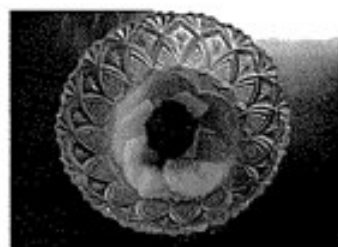
●ニョッキの作り方

材料<5人分>

- ・じゃがいも 300g (皮をむいて)
- ・薄力粉 60g
- ・卵 1個
- ・塩 少々

～作り方～

1. じゃがいもは、乱切りにし、塩ゆでする。
2. やわらかく茹で上がったら、粉ふき芋にする。
3. 熱いうちにつぶし、薄力粉、卵をまぜる。
4. まとまりができるまで、こね、形を作る。
5. たっぶりのお湯でゆでる。浮いてきたら水の中に入れ冷まして出来上がり。



デザート

●ニョッキ汁の作り方

材料<5人分>

- ・大根 75g
- ・鶏肉 100g
- ・ネギ 50g
- ・だし汁 650g
- ・塩 小さじ2
- ・にんじん 50g
- ・ごぼう 25g
- ・ニョッキ 150g
- ・しょうゆ 大さじ1
- ・みりん 小さじ2

～作り方～

1. 大根、にんじんは、短冊切りにする。
2. ごぼうは、ささがきにし、長ネギは、小口切りにする。
3. だし汁に大根とにんじんとごぼう、とり肉を入れる。
4. 野菜が柔らかくなったら、長ネギを入れ、味つけする。
5. 沸騰したら、ニョッキを入れ、2分ほど煮て出来上がり。



ニョッキ汁

芦別の高齢者の暮らしに感じること

芦別に住まわられている様々な方とかかわらせていただき、よく聞かれる言葉があります。「もっといろいろなサービスがあったらいいのにな」

現在芦別市で利用できる介護サービスは、介護保険で利用できるといわれているサービスすべてはありません。また、あったとしても選ぶほどないのが現状です。

ないことは仕方ないのですが、今利用できるサービスで本人様や家族様が望んでい

～ケアマネの視点から～

る生活に近づける事はできるのでないかと思ひ、私たちは仕事をさせてもらっています。他市から比べると高齢者も多く、子供たちも近くにいないと話されている方も多く、中で、頑張りすぎている方が多いと感じます。「どうせサービスがないから」と言っ、相談に行かなかったというお話も聞かれます。サービスが少ないなら、少ないの生活があります。一緒に考えていけたらと思っています。

ケアマネジャー 山崎由加里

介護技術のスタンダードを見直すために

今年度は正しい介護技術を学びたいという職員の声から、「リハビリから学ぶ研修」を実施しています。講師には北部保健福祉専門学校作業療法学科科学科長大堀先生をお招きいたしました。今回は普段の生活から動くというところを見直してみる、起き上がり、立位など人が動くことの基本を知るというテーマで学びました。私たちは「リハビリ」と聞くと体の機能改善のための運動や体操だと思ってしまう。それは認知症などの病気や障がいしか見ていないからであり、ご利用者を自分たちと同じ世界で暮らしている人、同じように毎日の生活を送っている人だということを忘れているからです。大事なことはご利用者が見る、聞く、目を動かす、指先を伸ばすなど自分で刺激を受けて活動することであり、そして、その行動を介護で阻害しないこと、バツとやってしまう介護にならないことがリハビリであるということです。こういう介護ができるように学んだ実技を身につける研修を今後も継続します。



新人職員奮闘記

PART.6

者の笑顔が増えるようなケアを目指して行きます。



ケアワーカー 原田 葵

ご利用者の生活の支援をさせて頂いています。1日1日が、あっと言う間で時間を惜しく感じる事もありますが、いつもご利用者の笑顔に元気をもらっています。その方に合うケアを見つけ

また笑顔第一で頑張ります。



ケアワーカー 寺口かすみ

時が嬉しかったです。これからは、ご利用者の良い変化、悪い変化にも、すぐ気付けるように経験を積んで行きたいです。

何をすべきか自分で考え、動けるようになる事が目標です。



ケアワーカー 鈴木 悠司

いのか理解することが難しいと感じていますが、気持ちを通じてご利用者の笑顔が見られるのが、とても嬉しいです。今はまだ先輩職員に指示されて動く事が多いので、これからは

声の広場

〇秋になり、冬が近づいてきて…

秋夏も過ぎ、秋物の服を買いに行きました。職員や他のお友達から「素敵ね」と声をかけてもらってうれしかったです。

秋が降るとなかなか外に出られなくなるから、今のうちにできるだけ体を動かしているんです。寒さなんか気にならないくらい元気でした。

秋毎日窓から外の景色を見えています。少しずつ紅葉がきれいになっていくのが楽しくてこれから寒い冬が来ると思うとイヤですね。

秋いつも私に声をかけてくれる職員が、風邪をひいてしまってしばらくお休みしていたの。元気になって「たっいま」って声をかけてくれたのがうれしかったです。やっぱり孫みたいでかわいいです。

「ショートステイを利用した方から」

秋はつらつコースという行事に初めて参加しました。自己紹介をして、1曲歌わせていただきました。昔から歌は大好きでしたが、最近はなかなか披露する場がなくてね。だからスカッとしましたよ。

秋ずっと前から利用していただけど、夏に入院してから思うように体が動かなくなってる。でも、みなさんとのおしゃべりが楽しいの。あれから少しずつ体も動くようになったのもうれいけど、一番うれいのは、帰るときに「また来てね」とみなさんから声をかけられること。また行くのでよろしくお願ひします。

秋去年からかさぐるまでお泊まりしています。家ではいつも1人だけ、ここにいたら友達がいっぱいいる。毎回帰りたくないなって思うんだけど、家のことも心配だしね。また来月元気に遊びに来ます。



ご厚意ありがとうございます ございました

（平成二十二年五月〜十月） 敬称略

▽寄付金

（芦別市） 白井昭二、元岡 博、板倉隆雄、中川隆弘

▽寄付物品

（芦別市） 伊藤澄子、横市美雪、佐藤久子、堀江ハナ、外山悠子、西本三平、佐藤笑子、岩山キエ子、脇島真一、有倉征寿、中川隆弘、根井須美子、まるとみ食堂、ラルズ労働組合芦別分会（室蘭市） 山本マキ子（深川市） 清水啓充

▽ボランティア・訪問団体

ともしび会、しらゆり、ふきのとう、マーガレット、ナザレン教会、ゆりの会、さくら、ミケ、アトム、コロちゃん、ひまわり

● もみじの家



行事写真



● かざぐるま夏まつり



● 中央団地町内会ふれあい大運動会



リハビリの知識や技術も使う人の気持ち次第。毎日繰り返す地道な積み重ねがあつてのこと。気持ちのよい挨拶を続けることから。(F)

紅葉も落ち葉になり、あつという間に冬を待つ季節です。長い冬の間もご利用者の皆さんに元気に過ごして頂けるよう準備が大切です。(I)

あちらこちらで風邪やインフルエンザが流行しています。手洗い・うがいが一番の予防と洗っているると手に潤いがなくなって来てクリームを塗ってま

ケアマネとして地域に向けてミニ介護講座を開催しています。慈恵園の知識や機能を地域の皆様に貢献できる役割を果たしていきたいと思ひます。(K)

編集後記

● デイサービスセンター



「のんびりティータイムですよ」